

議会だより

第20号



📷 2年ぶりに開催された日野町総合防災訓練で
学区内の危険箇所など防災学習を発表(桜谷小学校児童)

INDEX

令和4年度日野町総合防災訓練	p.2
ここに注目!わたむき自動車プロジェクト	p.3
委員会からの報告	p.4~7
12議員 一般質問に立つ	p.8~19
議員公務	p.20

滋賀県日野町議会 令和4年9月定例会号 (令和4年11月15日発行)

9月議会

9月1日から29日に
開催された定例会および
8月9日に開催された
臨時議会の結果を
お知らせします。



日野菜のPRキャラクター
あのなひのな

令和4年度日野町総合防災訓練

9月4日（日）午前7時より西桜谷公民館グラウンドにて日野町総合防災訓練が行われ、日野町議会から杉浦議長、谷副議長、後藤総務常任委員長、地元の加藤、高橋両議員が出席しました。

1923年9月1日に未曾有の被害をもたらした関東大震災が発災したことに因み、1960年に9月1日を「防災の日」としたことから、全国各地でこの時期に防災訓練が行われています。今回の防災訓練が、参加した人だけでなく、ご家族や周囲の人への災害に対する意識付けや、日ごろから防災について語り合うことのきっかけになる事を願っております。防災訓練の準備や片付けにご尽力いただいた皆さんには、町議会からも感謝を申し上げます。



日野消防署による車両とじ込め救出訓練

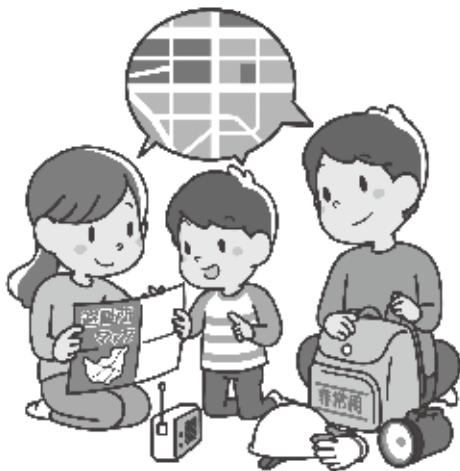


豪雨や台風に備えた土のうづくり訓練



桜谷小学校児童のパネルを使った防災発表

防災訓練の後には体育館にて滋賀県消防操法訓練大会のポンプ車の部で優勝した日野町消防団第2分団による優勝報告会も開催されました。素晴らしい操法を披露してくださった第2分団の皆さんにお祝いを申し上げます。10月29日に千葉県市原市で開催される全国大会でも、日野町として2大会連続の全国制覇を目指していただけることを議員一同、心よりお祈りしております。



滋賀県消防操法訓練大会のポンプ車の部で優勝した日野町消防団第2分団による優勝報告

ここに注目！ わたむき自動車プロジェクト

地域を走る公共交通（町営バス・近江鉄道路線バス）は、高齢者の移動手段や遠方からの通学などに欠かせない、なくてはならない交通機関です。今、この公共交通の利便性を高め利用者を増やして再編させようと「わたむき自動車プロジェクト」がスタートしています。

令和3年度から始まり、今年9月には2度目の実証実験が終了したところです。国の地方創生推進交付金を活用（国50%、町50%）してのプロジェクトは、放置できない問題を解決していく術ではありますが、財政負担も含め課題も多く議論を重ねています。



実証実験バスに乗って通学する
必佐小学校児童

●「わたむき自動車プロジェクト」は推進協議会で運営

推進協議会は、町長を会長として、滋賀県、近畿運輸局滋賀運輸支局、近江鉄道株式会社や日野町商工会、日野観光協会、株式会社ダイフク、株式会社オーケーエムなど、13機関の代表者を委員として運営し、事務局を日野町企画振興課に設置

●公共交通活性化の基本的な考え方

- 1) 地域の輸送資源の総動員
- 2) マイカーの利用が前提という意識の転換

●令和3年度の実施事業と予算

通勤通学バス実証実験バス借上費の他、人流データ分析、周遊アプリ開発等 5,100万円
 桜川駅、日野駅を集客拠点とした通勤バスルート 2月平日の18日間、利用者低調
 湖南サンライズ⇄必佐小学校の通学バス 2月平日の18日間、おおむね良好

●令和4年度の取り組み事業と予算

第1フェーズ	事業所等への通勤、小学校の通学における移動ニーズへの対応 ●通勤バス路線を大幅見直し、近江八幡駅、八日市駅を追加し運行 令和4年9月実施済み利用者は低調 ●通勤人流データ分析、通勤実証実験参加者意識調査・CO ₂ 削減効果分析 ●湖南サンライズ⇄必佐小学校の通学バスは10月以降、継続運行	2,350万円 650万円
第2フェーズ	住民の移動(日常生活における主要な移動)ニーズへの対応 ●AIオンデマンド交通（P.7）の実証実験 南比都佐線、必佐中山線を対象 令和5年1月開始予定 ●町民生活移動人流データ分析	900万円 300万円
第3フェーズ	楽しみのための移動ニーズへの対応と新たな移動ニーズの創出 ●カーフリーデー（P.7）9月22日、ターミナルでのにぎわいづくり ●イベント等実証実験バスの運行、通学実証実験バスの運行 ●商店・飲食店活性化アプリ改修費、来訪者等人流データ分析 ●公共交通機関・自転車による周遊促進、町内周遊促進アプリ改修	625万円 400万円 800万円 700万円
-	エビデンスに基づく公共交通分析、施策立案支援等	700万円

予算特別委員会

9月議会に提案される補正予算は、年内の歳入・歳出の輪郭がほとんど見えてくる時期での補正で、同時に前年度の決算書も提出されるので、決算との対比で確認することができます。

また、これから本格化していく次年度の予算編成に向けて試金石のひとつにもなるので、様々な意味で9月度は重要な補正予算になります。


ただし、今年度に関しては、6月議会までに第4号までの補正を重ねているので、この9月議会での事業・事務費の大きな変更はありませんでした。

付託案件

●議第50号 令和4年度日野町一般会計補正予算(第5号)

歳出で2,000万円を超える大きな額が計上されたのは、いずれも国の新型コロナ対策等に係る補助金を精算して残額を償還するためのものです。さらに、道路整備に関する国庫補助金の内訳が大幅に変わりましたが、予算科目での大きな変更にはなっていません。

農業用の燃油等が高騰している対策として、県の緊急支援補助金を活用して、高騰分の支援事業費が計上されました。また、各自治会からの行政要望に応える道路維持補修事業で、1,000万円余りの経費が増額されました。

歳入では、国からの普通交付税が約1億5千万円の増額で決定したのに伴い、国が支払いきれない分を町が立て替える意味で借入する臨時財政対策債（ P.7）は1,698万円減額されます。

税収等の一般財源の落ち込みがなかったことで、取り崩しを予算化していた基金の約85%は元に戻すことにしました。

《1,000万円以上の主な歳出》

科目	経費の内容	予算額
児童福祉事務事業	子育て世帯支援特別給付金補助金の残額償還	2,055万9千円
保健衛生事務事業(保健)	新型コロナワクチン接種補助金の残額償還	6,277万4千円
農業振興事務事業	農業用燃油等の高騰対策	1,299万9千円
道路維持補修事業	行政要望に応える道路補修	1,080万円

残額償還…前年度に補助金を活用して事業に対し、実績に基づいた精算をして、その残額を返すこと

質疑と討論・採決

今回提案された補正予算は、一般財源を中心に今年度予算の全体構造を確認できる機会ではありましたが、質疑では各事業費の細部を聞く各論に終始しました。

そのなかで、8月中までに各地区の行政要望が出揃ったこともあって、道路補修や交通安全施設など行政要望に関連した質疑が多く出ました。また、執行側の施策の運用や施設の管理が適切であるかを質す質疑も出されました。

討論はなかったため、質疑に続いて採決を行ったところ、全員が原案どおり可決することに賛成しました。



総務常任委員会

付託議案の主な審議内容

- 議第46号 日野町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第47号 日野町税条例および日野町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について

Q DV被害者の判断は、本人が事前登録した際にチェックし非表示にするのか？

A 本人申告により住所表記を削除する。その他の内容は令和6年4月1日の施行日までに調整する。

付託議案の採決

反対討論は無く一括採決 → 全委員一致にて全議案を可決すべきものと決しました



請願審査

- 請願第7号 火災建物の撤去に伴う適切な対応を求める請願書 (提出者:石原区自治会長 紹介議員:谷、西澤、奥平)

【委員から出た主な意見】

- ・区長は司法書士事務所にも相談しているか。この文面だけでは理解しかねる。
- ・物件所有者、相続人が存在する以上、行政での対応は難しいのでは。
- ・まず特定危険空家に指定したうえで行政代執行を行うという方法が考えられるが、時間がかかる。

火災や災害等で倒壊の危険がある家屋に対し所有者や管理者での撤去が難しい場合で、周辺住民の生命や財産にその危険が及ぶ可能性がある場合、町として対応できる制度整備が必要との意見で一致。

継続審査とし、町行政に対し制度整備を要請するための意見書決議を提出することとする。

調査・研究

- 自治体DXの必要性和当町の取り組み、今後の計画について

産業建設常任委員会

調査研究内容

- 国道307号の交通渋滞緩和、積雪対策について

Q 渋滞緩和のための新しいバイパスなど計画できないか？

A 先ずは西大路鎌掛線の整備に努めていき、完成を見越し次の整備する路線の計画を考えていきたい。

Q 積雪対策について、急勾配の道路に散水する設備の設置への町の考えは？

A 施設を整備するには費用もかかってくる、融雪剤を散布して、路面の凍結防止の対応をしていく。

- 空き家対策の現状と課題について

Q 空き家の町営住宅化について全国では事例があるのか。実際に可能なのか？

A 町営住宅化の事例は存じていないが、地域活性化等のためリノベーションして若者夫婦用の住宅として整備するなど、町が空き家を利活用している事例等ありますので、総合的に研究していきたい。

- 奥師地先宮川林道橋梁復旧にかかる要望書について

Q その周辺集落で間伐材の利用促進等するためなどで、森林環境譲与税 (P.7) の活用は難しいのか？

A 林業整備上必要なことという位置づけがあるということで、財源充当は可能です。

☆自由討議の後、要望書に対して議員提案で意見書決議をすることに、全員異議なく決しました。

- 西明寺八丁野地先の西明寺川に架かる仮設橋の撤去を求める内容の要望について

Q この仮設橋をそのまま使用することは可能なのか？

A 仮設橋の状態で安全性が確保されているのか、町の責務として解析をしながら判断する必要がある。国土交通省の橋の相談室など、専門の相談機関に聞いて対応を考えたい。

厚生常任委員会

付託議案

●議第48号 日野町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について

Q 高齢寡婦の助成の範囲を明確にするとは？ 通知・案内は？ 有効期限は？

A 後期高齢者窓口負担が10月から2割導入の1割の部分を明記、65歳から74歳の差引窓口負担を1割控除するもの。通知・案内はしている。8月からの1年サイクル。現在、当町の対象者は0（ゼロ）。

●議第49号 日野町老人福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について

Q 議第48号と同様に65歳から74歳までの低所得老人に対応するということが、該当者は？

A 8月1日現在、65歳から69歳は140人、70歳から74歳は237人の合計377人と、近年増え続けている。

●議第51号 令和4年度日野町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

Q 保険診療の費用の流れを問う。

A 今回の歳出での1,752万6千円は、保険給付費の不用額としての1,403万5千円、不当利得・不法利得による返還が83万8千円。事業費精算で265万2千円の合計額の返還となる。

●議第52号 令和4年度日野町介護保険特別会計補正予算(第1号)

●議第53号 令和4年度日野町水道事業会計補正予算(第1号)

老朽化を防ぐことと耐震化対策の補助金事業として、耐震性を備えた水道管に更新している。

付託議案の採決

反対討論は無く一括採決 → 全委員一致にて全議案を可決すべきものと決しました



その他

「猫の放し飼いによる糞尿被害等に対して、飼い主の責任を明確化するガイドラインを」と問題提起あり。

地方創生特別委員会

調査・研究

令和4年度に実施される「デジタル田園都市国家構想交付金（国50%、町50%）（[P.7](#)）」を活用して行われる事業の進捗を確認しました。

サテライトオフィス（[P.7](#)）を活用した「現代の近江日野商人」推進事業

1) サテライトオフィス等開設支援事業（空き家を活用した整備の促進事業） 500万円
空き家（日野町内にある伝統的な住宅・商家）を改修して、サテライトオフィスを開設するための支援を行う事業です。

応募事業者…株式会社ドットアーキテクト（大阪市）※3事業者を募集し、1社のみを選定

2) サテライトオフィス等開設支援事業にかかるプロジェクト推進事業 90万8千円
（マッチングイベント“近江日野商人サミット”の開催）

関東周辺に現在も点在する近江日野商人をルーツに持つ企業群にアプローチし、それらが一堂に会するイベントを実施し、日野町への進出や事業展開、連携を呼びかける取り組みです。

イベント日時 11月14日（月）埼玉県浦和駅前 浦和コミュニティセンターにて

3) 進出企業支援事業 100万円
上記1)の事業者に対し、円滑に移転できるように進出支援金を助成することで、着実な地方への人の流れを生み出す取り組みです。



サテライトオフィス
開設予定物件



近江日野商人
サミット

議会改革特別委員会

議員間討議から方向性を導き出す 「話し合い、提案する、積極的な議会」

「議会デジタル活用実証実験実施中」 ～3/31まで実施予定

<GoogleWorkSpaceを活用した取り組み紹介>

*取り組み① 調査研究の効率化

課題：すべての資料が紙で、整理や管理が困難

成果：町の計画や過去の予算・決算書をデジタルで閲覧検索が可能になったため、調査効率が大幅に改善

未解決：現在進行形議案の見開き資料は見づらい

*取り組み② 住民から議会への意見を届ける方法の追加

課題：議会への連絡は電話かメールのみ

成果：スマホで気軽にご意見を入力できるアンケートフォームを作成し、QRコードにした（P.21参照）

今回注目の議員間討議

<問題提起>

議会選出の監査委員制度ってどうなの？

背景：議会から選出することは地方自治法に定められている

課題：①議会の人員がさかれ、議会力の最大化ができない

②監査は完全な第三者の方が適当ではないか

参考：条例制定により議会から選出しないことができる

今後の方向性：他市町の動向を調査し次回再度討議する

ことばのまめ知識

議会だよりの文中に、難しい言葉や行政用語があります。より理解を深めていただくために、分かりやすく解説します。

カーフリーデー（P.3）

都心部等で1日マイカーを使わない地区を設定し、車のない都市環境を体験するイベントです。

オンデマンド交通（P.3）

予約をすると運行する乗り合いの公共交通機関です。利用する場所や時間は決まっていないため自由に必要とき、必要な時間に利用可能です。タクシーよりも安価であることが魅力です。

臨時財政対策債（P.4）

国が町に交付する地方交付税の財源不足に対処するため、その不足する金額の一部を一旦町で借金をしてまかなっておく町債のことです。

地方交付税の振替として発行する町債であり、実質的には地方交付税と言えるものです。

平成13年度の地方財政対策で時限的な措置として導入されましたが、度重なる延長を経て現在令和4年度まで措置されることが決定しています。

森林環境贈与税（P.5）

森林整備が緊急の課題であることを踏まえ、2019（令和元）年度から前倒しで交付されています。

町においては、「森林整備及びその促進に関する費用」に、また、県においては「森林整備を実施する市町村の支援等に関する費用」に充てられます。2024（令和6）年度から町において個人住民税均等割と併せて1人年額1,000円が徴収されます。その税込全額が、森林環境贈与税として県・町へ譲与されます。

サテライトオフィス（P.6）

テレワークの働き方の一種で、本社以外の場所にオフィススペースを構えることでわざわざ本社まで行かなくても近距離のオフィススペースで働くことができるものを言います。

デジタル田園都市国家構想交付金（P.6）

地域の個性を生かしながら地方を活性化させ、持続可能な経済社会を目指すため、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けて国が交付金により支援するものです。

令和4年9月 町議会定例会における 一般質問内容および質問順序

発言順序・氏名	質問内容	ページ
1 山田 人志	① 氏子と自治会(文化財地域計画への期待) 2 集落営農と自治会について ③ 町政と自治会(これからの関係は?)	P. 9
2 高橋 源三郎	1 食料品や生活必需品の備蓄は自己責任で確保・保管を 2 桜谷こども園通用門前の雨水対策	P.10
3 西澤 正治	1 日野町内のヤングケアラーの実態について	P.11
4 奥平 英雄	1 日野小学校通学路の町道日野松尾線の安全対策を	P.11
5 山本 秀喜	① 働きながら子育てしやすい日野町に! ② 特産品日野菜の生産振興は進んでいるの? 3 日野町の脱炭素社会への取り組みは	P.12
6 野矢 貴之	1 地域と町行政の協働計画は誰がつくる? 2 日野町の「ひとつづくり」計画はどうなってる?	P.13
7 齋藤 光弘	① コロナ感染自宅療養者へのサポート体制強化を 2 農業振興への農業政策支援の取り組み状況について ③ 公共交通再編に向けての財源確保はどうするか?	P.14
8 加藤 和幸	1 安倍元首相の「国葬」への町の対応について 2 通勤バス路線化で黒字収益が見込めるか ～わたむき自動車プロジェクト～	P.15
9 中西 佳子	1 町の中小・小規模企業支援について 2 サニタリーボックスの設置について	P.16
10 谷 成隆	1 社会情勢を踏まえた学校給食の取り組みについて	P.19
11 池元 法子	1 町道小御門十禅師線 時間がかかりすぎの安全対策ではないか 2 わたむき自動車プロジェクトにおいても公平公正な町の行政運営を望む	P.17
12 後藤 勇樹	1 町は農村型地域運営組織(RMO)推進の後押しを 2 県が検討中の「交通税」から公共交通を考える	P.18

議会だよりでは、3つ以上一般質問がある場合、スペースの関係で○のついた番号の質問と答弁を掲載しています。

本会議の様様をインターネットで配信しています。
(ライブ中継・録画中継)



上のQRコードを読み取ると
一般質問の録画が視聴できます。



氏子と自治会 (文化財地域計画への期待)

氏子の活動を文化財ととらえて自治会の問題を共有したい



山田 人志 議員

土地を守る氏神は、その土地に住む誰もが氏子なので、祭礼等の行事は自治会単位で引き継がれてきましたが、近年の人口減少や高齢化の進展で労力的・経済的な負担が過大となり、自治会運営に係る問題のひとつになっていきます。

前回6月議会でRMO(地域運営組織)と公民館の役割を取り上げたのに続き、町民に最も身近な地域コミュニティである自治会に係る「これから」の実態把握と「これから」のあり方について一問一答で意見交換をしました。

問 町政と自治会(これからの関係は?)

答 地域づくり、まちづくりを進めるうえで「協働」の関係ができるように一緒に考えたい

令和2年4月で役場側が区長制度を廃止したことで輪郭のなくなった自治会もあるが、どう感じているか。

問

役場が自治会に委託している文書配布などの仕事は、いずれも一方通行の内容で、それが「これまで」の関係であったとすれば「これから」の関係はどのようなものと考えているか。

問

役場が自治会に委託している文書配布などの仕事は、いずれも一方通行の内容で、それが「これまで」の関係であったとすれば「これから」の関係はどのようなものと考えているか。

問

非常勤職員の区長制度を廃止して事務委託契約に変更したが、その際に地域の実情など意見を聞く必要があったかとも思っている。

答

役場と自治会は、地域づくり・まちづくりをともに育む協働の関係であると考えている。企業なども含め、子どもから高齢者まで一緒になってこのまちをつくるという関係が望まれる。

問

役場から最低限の自治会の要件を示し、それに沿って各自自治会組織の点検をしてもらうことで町政と自治会の関係を考えるきっかけになれば良いと思うがどうか。

問

役場が全ての自治会と意見交換をするのは無理で、区域を越える問題もある。そこでRMOが重要となる

答

町民の命と暮らしを守るために必要なものは何か、大切なもの誇りになるものは何かを考え、それらを維持するための自治会のあり方をみなさんと話し合っ

問

神社、野神、山の神などの行事は、無形の文化財として地域計画で検討の対象になるか。

答

それらの諸行事は、保存・活用すべき民俗文化財であり、地域計画の対象とする。

問

各地域の氏子の活動は、時代ごとの変化はあったはずであるが、今は変化のための発信をすることが難しく

答

氏神等を抛りどころとする中世以来の伝統が自治会の負担になっている場合がある。氏子の活動は、日野らしさや地域のまとまりを具現化する文化財なので、地域計画での検討を通じて自治会の抱える問題を共有したい。

答

自治会は住民の自主的な運営組織なので、役場から要件を示すことは難しいと考え

問

自治会は住民の自主的な運営組織なので、役場から要件を示すことは難しいと考え



問 食料品や生活必需品の備蓄は自己責任で確保・保管を

答 自主防災組織の活動に有効な資料を提供していく



高橋 源三郎 議員

問

近年、異常気象による災害が全国で多発し年々甚大化しています。わが町でもこうした災害はいつ襲ってくるか分かりません。この時に一番問題となるのが日々の食料品と生活必需品の備蓄です。普段から突然の地震や風水害に備えて、食料品なら3日分、生活必需品なら1カ月分の備蓄が必要とされ、機会あるごとに広報やチラシ等で周知されています。しかし、この問題に対してどれくらいの住民が危機意識を持ち取り組んでいるかは疑問です。危機意識の薄い人の中には、「町や政府が何とかしてくれるだろう」と行政任せにしている人が中にはいます。確かに、水道水や電気の確保は個人の努力では無理ですが、水や食料品等の購入や保管なら誰でもできることであり、自己責任の範囲内です。すなわち、各家庭こそ「自主防災センター」の役

割を担うことが重要と考えます。そこで質問です。

① 防災用品の備蓄について、標準世帯(例えば4人家族)の備蓄量の目安を一覧表にして全戸配付してもらえないか。

② 上水道が全町的に断水した時の給水マニュアルはできているか。

③ 停電時の対策として、家庭で発電機を購入した場合の補助制度はあるか。

④ 食料品の備蓄において、期限切れを防ぐためのアイデアを町民から募集し広報等で公表してはどうか。

⑤ 大規模災害時の避難・誘導については、各字の被害状況や区長の判断によって異なるが、その対応マニュアルの作成について区長会で指導願えないか。

答

① 住民への啓発は「広報ひの」や町のホームページでもお知らせしている。また、

防災出前講座や防災訓練などでも啓発に努めている。

② 企業庁からの送水管が破断した時は全町断水となる。この場合、日野町地域防災計画に基づき「応急給水計画」により対策を検討する。また、公共施設等へ給水車を配置し給水活動を行う。場合によっては他市町へ応急給水の応援を求める。

③ 個人の購入については補助制度はない。ただ、地域の自主防災組織が防災のために購入する場合は補助制度がある。

④ 家庭の備蓄品は古いものから消費し、新しく買い足す「ローリングストック」といった備蓄方法について啓発していきたい。

⑤ 災害発生時の安全で迅速な避難誘導は非常に重要であることから、各字の自主防災組織の活動に有効な資料を提供していく。

問

桜谷こども園通用門前の雨水対策

答 すでに修繕工事を発注した

問

第1園舎を利用している園児の送迎には、園舎に隣接する西桜谷公民館の駐車場を利用することになっていきます。ところが今年の7月、8月は大雨が何度も降り、公民館事務室前のレンガ舗装の通路の一部が陥没しており、そこに雨水が溜り通行できない状況となっています(下写真)。もちろん、親子とも長靴を履いて通れば問題は無いのですが、普通の靴では無理です。そこで、レンガ舗装の陥没部分を早急に修繕していただくと共に、以前の一般質問でもお尋ねしたように、園庭内の通路部分の水たまりについても盛土をするなどして対策をしていただきたい。通園者の歩行に支障が出ないよう早急な対策を求めます。町があげて指定する通園



通用門付近の雨水による浸水箇所

答

桜谷こども園の通用門入口付近のインターロッキング(レンガ舗装)の陥没部分については、すでに修繕工事を発注したところです。また、園庭内の水たまりについては令和2年度に盛土を行い、今年度も通路は真砂土で盛土したところです。今後、各園についても状況を見ながら対応に努めていきます。

問 日野町内のヤングケアラーの実態について

答 複数の課題を抱えた家庭もあり、連携して支援する



西澤 正治 議員

問

ヤングケアラー
と言われる言葉が

テレビ、新聞等で報道されるようになりました。新型コロナウイルスの流行が長期化する中で社会的な孤独・孤立の問題は深刻さを増し、中でもヤングケアラーは年齢や成長の度合いに見合わない責任や負担があることで本人の成長や教育に大きな影響があります。

本来なら大人が担うべき家事や家族のケアを日常的に行っていることにより、社会が守るべき子どもの権利が守られていない可能性があります。家庭内のプライベートな問題であることや、本人に自覚がないなどことから、支援が必要でありながら表面化されていないのが実情ではないかと思えます。

町内において調査や実態を把握されているのか伺います。

答

ヤングケアラー
とは法令上の定義

はありませんが、一般的には本来大人が担うような家庭的配慮等の責任を引き受け、家事や家族の世話介護のサポート等を日常的に担っている18歳未満の子どまとされています。

滋賀県では20歳代の若者までを「子ども若者ケアラー」と呼んでいます。今年度「子ども若者ケアラー実態調査」を実施されたが、町内の小中高の調査結果は公表されていないため、詳細は不明です。

経済的困窮や家族の通院・介護・社会からの孤立など重複した課題を抱えている家庭が多いと考えられることから、教育・児童分野にとどまらず福祉や医療を含めた多機関での連携を図り支援してまいります。

問 日野小学校通学路の町道日野松尾線の安全対策を

答 安全に通学ができるよう、必要な対策を検討する



奥平 英雄 議員

問

日野小学校生は
通学路として、町

道日野松尾線の郵便局前の横断歩道を渡っています。この道路は直線です。この道路は直線です。スピードを出す車が多く、横断歩道に立っていても止まってくれません。そこで通学路の交通安全対策を要望します。

①横断歩道を新しく白と緑ラインに塗り替えてほしいか。
②横断歩道を予告するダイヤモンドマーク表示も白と緑ラインに塗り替えてほしいか。
③横断歩道を知らせる新たな警戒標識を設置できないか。
④速度抑止対策として、道路中央にポストコーンを設置できないか。

答

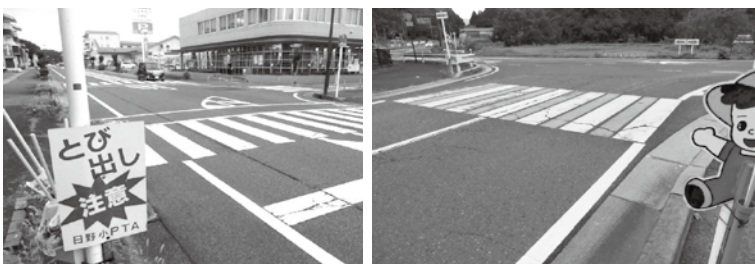
①②安全な通学路
で通学できるよ

うに、街路樹の撤去等と郵便局前の歩道を確保するためにポストコーンを設置し、歩道の両サイドに横断旗を設

置しました。緑ラインの表示等は、公安委員会に要請します。

③新たな警戒標識の設置は考えていません。子どものみ表示の標識に変更は可能です。該当交差点の取り締まりを依頼し、「横断歩道利用者ファースト運動」を推進します。

④必要であればポストコーン設置を検討したい。



日野郵便局前の横断歩道に右写真のような緑ライン入り表示を要望



問 働きながら子育てしやすい日野町に！
「幼児教育・保育の在り方検討懇話会」2年後の提言、待って大丈夫？



答 保育士の確保が重要な課題、まずは処遇面の改善を実施
 保育従事者の声を処遇改善や労働環境の改善に反映させていく



山本 秀喜 議員

問 時代の変化に対応し誰もが子育てに夢と希望がもてる町を目指して「幼児教育・保育の在り方検討懇話会」を発足され、会議が開催されています。今からどのような提言書にまとまっていくのか期待していますが、大幅な定員未達の幼稚園について、この懇話会の提言(2年間)を待っている間に刻々と状況が変わるのではないかと危惧しています。

また冒頭の「時代の変化に対応し」は、まさしく今の保育ニーズへの変化は言うまでもなく、早くから長時間保育の保育園に入園したいとする意向は明らかです。

全ての幼稚園で18時までの預かり保育を実施すること、保育園の待機児童をゼロにすること、これらの取り組みを進めるための課題を早急に解決していくことが求められるとし、町の考えを問いました。

答 令和元年10月から保育料無償化により、長時間保育認定の利用者が、保育所や必

佐幼稚園の預かり保育(定員30名、18時まで)を希望され、定数を超える申し込みとなっています。幼稚園の預かり保育には専属の保育士を配置しており、保育園も含め、保育士の確保は重要な課題となっています。処遇面では、令和4年4月から会計年度任用職員の担当手当の改善をし、今後は働きやすい職場環境となるよう保育ICTの導入促進や保育者アンケートを実施し保育従事者の声を反映させ、業務負担の軽減を図っていきます。



18時まで預かり保育を実施している
 必佐幼稚園

問 特産品日野菜の生産振興は進んでいるの？
「日野菜のGI認証(地理的表示)」の登録審査状況は？

答 生産、加工、販売ともう一歩の努力が求められる
「近江日野菜産日野菜のGI登録」は10月初旬頃

問 国の産地パワーアップ事業の補助

制度を利用して、JAGグリーン近江日野菜産物加工施設が設立されました。その際に立てられた目標値(栽培面積10ヘクタール、漬物販売10万袋、栽培10アール当たりの漬物販売額33万6400円)が未達成(最低限目標の80%が必須)であることから、農林水産省からペナルティーが科せられている状況とこのことを、令和3年6月定例会一般質問で確認しました。以降、目標値達成に向け、生産振興が進んでいるのか伺いました。

また、JAでの日野菜栽培研修会において、近江日野菜日野菜のGI認証について、農林水産省の登録審査が進められる



水田地で栽培している
 特産品日野菜

答

令和3年度の産地パワーアップ事業での実績値は、作付面積で令和2年度の7.2ヘクタールから8.6ヘクタールとなり、加工品の販売については2千万円弱と前年度から百万円余りの減となり伸び悩んでいる状況です。事業実施主体であるJAグリーン近江からは、「生産」「加工」「販売」における課題解決策を検討し、目標達成に尽力したいとされています。

日野菜のGI認証は、昨年度農林水産省において受理され、令和4年6月1日から3か月間、公示されました。この議会日より発行されるころには、登録の報告が行われていると思っています。

問 地域と町行政の協働計画は誰がつくる？

答 課題解決へ向けた地域運営組織や計画は必要である
地域の方々と行政も一緒になって考えたい



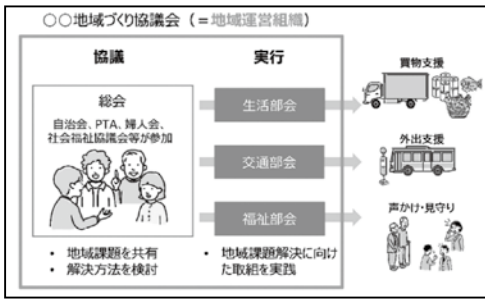
野矢 貴之 議員

問 日野町で持続的な地域社会をつくるために、学区単位くらいで地域全体を運営する組織を考えるとしたら、それは今がタイミングにあるように思います。

地域の抱える問題は年々顕在化し、現行のままでは解決することができない、完全に制度疲労（制度と社会状況が合っていない）を起しているからです。地域運営組織によって、それらの今は解決の気配さええないような課題に適切な対応をしていくようになります。人材を含む地域資源活用効率化や、組織や役をまたがった地域の課題の整理などがそうです。地域運営組織の必要性、地域運営計画の必要性、それは誰がつくるのか、地域と行政の協働体制についてはどう考えていますか。

答 地域の課題を解決するにあたっては、区域や団体をこえた地域を統括する組織が必要だと考えている。地域ごとのビジョンや計画は同じ目標に向かって進むために必要だと考える。

計画策定にあたっては、地域のまちづくりには町との協力や連携が重要であるので、一緒になって考えたい。行政の体制としては、課を横断したプロジェクトチームなどを必要だと考えている。



▶ 地域運営組織のイメージ (総務省より)

問 日野町の「ひびく」計画はどんな計画？

答 現在、具体的なプログラムはないが やりたいことを実現できる社会であるべきだ

問 第6次総合計画では、「時代の変化に対応し、だれもが輝き、ともに創るまち日野」とあります。ここでキーワードなのが、政策的には「ひとつづくり」です。では、どうやって「ひとつづくり」をするのでしょうか。

学校教育では、キャリア教育などプログラムがあります。しかし、現在の日野町では、社会人のための人材育成のプログラムはありません。

「やりたいことを実現する」「やりたいことを発見する」そんなプログラムで、人材育成と幸福度向上を兼ねるような「ひとつづくり」計画を実施できませんか。

答 ベースでは、子どもから生涯学習にたずさわって、いろいろな機会にふれるのがよい。地域の行事に参加し、ボランティアなど様々な体験をすることで、高齢になっても地域の人材となるように育っていくのではないかと。

自己実現は、子ども、河期世代、高齢者など、ひとくくりには考えにくい。しかし、やりたいことを実現する社会であるべきだし、それをサポート出来るなら、素敵な町だと思う。具体的にどのようなことが考えられるのか、研究していきたい。



▲ 人材育成のためのプログラムが幸福度を高める図解



問 コロナ感染自宅療養者へのサポート体制強化を

けんまか
答 自宅療養者に対して、町は県任せで、前向きな回答なし



齋藤 光弘 議員

問

自宅療養者の方が安心して自宅療養できるよう、県への健康観察の機能強化と町当局にできる限りのサポート体制強化を求め、質問しました。

① 自宅療養者に対する保健所・自宅療養者等支援センターの対応は。

② 安心して自宅療養できよう指導案内はできているのか。

③ 町が自宅療養者にサポートできないか。

④ 食料品等の支援は。

⑤ 町が自宅療養者にサポートできないか。

⑥ 町独自の情報発信を。

⑦ 自宅療養者向けガイドブックの発信を要望。

⑧ 相談窓口の開設を要望。



自宅療養者へ届けられる食料品等の支援物資

答



▶「自宅療養者等支援センター」設置
▶自宅療養者等の健康観察(毎日)
▶体調・困りごと相談(24時間受付)
▶「パルスオキシメーター」の配布等

① (1) 県は、自宅療養者等支援センターが軽症者には携帯メールか自動音声で日々の体温等、健康状態を入力する健康観察を行っている。重症化リスクの高い方は保健所に対応している。

② 携帯メールで自宅での過ごし方等案内している。

③ しがネット受付サービスより申請できます。

④ (1) 町として自宅療養者個人に向けての情報発信する考えはない。

⑤ 県ホームページで案内されており町からも閲覧できるよう考える。(3) 県がコロナ感染症の様々な電話相談窓口を開設されており相談内容に応じ案内している。

問

公共交通再編に向けての財源確保はどのようにするか？

答 通勤利用者の運賃収入により、採算が取れなければ、公共交通の通勤バス路線化の実現はできません。

6月定例会において、財源確保の見直しはあると言われる根拠を教えてください。一問一答で質問しました。

① 通勤バスを路線化したとき、財源確保をどうするのか。

② 通勤バスを路線化する計画の3ルートは、町の財政負担なく運行できるのか。

③ 沿線自治体・参加事業所との調整をどのように展開されるのか。

④ 持続的な乗車人数の確保はできるのか。

⑤ 令和3年度事業計画では「あらゆる移動需要を満たすことができる体系」を目指すとしているが、町当局の取り組み方針は変わらないのか。

答



八日市駅⇄ダイフクの通勤バス実証実験

① 通勤利用者の運賃収入により、採算が取れることが基本。黒字でなければ運行しません。運行事業者は、近江鉄道になるのか、町が運行するのか、今のところ未定です。

② 9月の実証実験の3路線は、運賃収入により運行することを目指しており、補助の対象となりません。

③ 沿線自治体と参加事業所との連携・協力が不可欠と考え、連携をよ



実証実験の通勤バス運行

り強化し、進めたい。④ 一定の乗車人数が不可欠と考えており、十分な人数であるのか、どれだけの乗車人数の掘り起しが必要なのか検討し、持続的な路線バスの運行を検討していきたい。

⑤ 本来、目指す必要があるものと考えており、それを優先するのかなど、運行をどうするのか、実現に向けては、丁寧に検討していく必要があると考えている。

問 安倍元首相の「国葬」への町の対応について

答 町として「国葬」に合わせた対応は考えていない



加藤 和幸 議員



問

7月に銃撃された安倍元首相の「国葬」をめぐる「国論」を二分する状況が続いています。

銃撃事件自体はあつてはならないことで、国民の多くがお悔やみの気持ちを持っていきます。しかし、そのことと「国葬」にするということは別問題です。

国論が大きく分かれている時に「国葬」を行うと、弔旗や黙祷の強制につながり、思想・良心の自由の問題になります。したがって、学校や官公庁に対して弔意を強制するようなことがあってはなりません。

ところが、県内近隣市で、7月に行われた家族葬に合わせて市教委が市内全小中学校に反旗の掲揚を求める文書を出し、これを受けて市内数校が掲揚したとありました。そこで、伺います。27日の「国葬」に合わせて町内の官公庁、教育機関で何

らかの対応を考えておられますか。

答

まずもって国葬とするものについて、国民のみなさんに対する十分な説明により、理解を得ることが大切だと考えます。

また、弔意につきましても、住民のみなさんに強制するものではなく、町としましては、「国葬」に合わせた対応については考えておりません。



並んだ町営バス

八日市駅前の実証実験バス(左)

問

通勤バス路線化で黒字収益が見込めるか
わたむき自動車プロジェクト

答 1日1路線150人がポイント
採算ラインの算出はできていない

問

2月に行われた通勤バス実証実験

では、ダイフク桜川駅便・日野駅便合わせて一日18便運行して約20人。——これでは実用化など、とんでもない数字です。

①今回は3ルート27便だが、それぞれ1日に付き何人くらいを想定しておられますか。

②実用化運行にバスは何台必要ですか。

③総収入と必要経費のシミュレーションを。

④採算ラインの想定は？

⑤運行主体が近江バスなら黒字収益が出たとしても近江バスの収益となり、第2フェーズに転用できないのではありませんか。昼間の時間帯に日野町の第2フェーズに使うことが可能なのか、そういった

協議はできているのでしょうか。

⑤オンデマンド交通の利用者は土日も利用があると思うが。

⑥利用対象は高齢者ですか。

⑦オンデマンド交通が一定の成果を上げたと考えられる場合は、町営バスは廃止ですか。

⑧桜谷地域や鎌掛地域、日八線沿線以外の西大路地域など条件的に類似している地域にも拡大する予定はありますか。

答

①1路線につき1日あたり150人

②11台程度。

③収入は想定定期代と利用見込み者数を掛けることでベースの算出

ができる。必要経費は現時点では算出しておりません。採算ラインの算出はできていない。

④黒字の場合、近江鉄道の収益となるが、昼間の時間を生活路線として利便性が高まるよう、近江鉄道と調整を行っていくことが必要と考えています。

⑤地域アンケートで土日にニーズが高い場合は協議していきたい。

⑥制限は設けていない。ただ、介助が必要な方は介護タクシーを。

⑦町営バスよりも利便性が高いと判断いただけた場合は地元のみならずと検討させていただきます。

⑧成果と課題を検証し、活用できるようなら検討したい。



問 町の中小・小規模企業支援について

答 安全な通勤の道路整備やバス乗り入れを研究



中西 佳子 議員

問 少子高齢化が進
行し若い世代の勞
働人口が年々減少し、人
材不足が問題となつてき
ています。町は働きやす
い、生活しやすい環境づ
くりの施策に取り組んで
いただきたいと考え、何
点か伺う。

①人手不足と言われてい
るが、学生人材確保の
ためのマッチング等の
施策状況は。

②女性の就労機会の促進
状況は。

③多くの外国人の方が就
労されているが、安心
して生活、就労できる
環境づくりが必要。住
居や通勤手段等整備す
る施策は。

④通勤バス実証実験が行
われているが、バス通
勤が可能な体制をつく
っていただけるのか。

答 ①企業にとって勞
働力の確保は喫
緊の課題である。学生
人材確保のための就職
フェアや企業説明会な

どは実施していません
が、事例調査やハロー
ワークとの連携協力等
について研究していき
たい。

②女性活躍支援施設「ほ
けっと」を整備し取り
組みを行っている。今
年度も子育て女性の活
躍応援プロジェクトと
して就労セミナーや相
談会を開催している。

③祖国を離れ、慣れない
日本での生活は想像以
上に変であると同っ
ている。住居について
は、会社の寮や賃貸の
アパート等に住んでお
られる方が大半と思わ
れ、多くの外国人の方
が就労されている工業
団地とは離れた生活拠
点となっており、通勤
手段が限られている外
国人労働者にとっては
通勤そのものにも苦勞
されていると感じてい
る。外国人労働者の安
全な通勤のための道路
整備や工業団地へのバ
スの乗り入れについて

は、今後工業団地の皆
さまからご意見を伺い
ながら研究していき
たい。

④通勤バス実証実験につ
いては、2月の実証実
験の課題を踏まえ、9
月からは近江八幡駅・
八日市駅という主要駅
からの直通ルート、ま
た、八日市・日野の街な
か經由ルートを新設
し、ダイフク滋賀事業
所・オーケーエム・第1
工業団地事業所のご協
力のもと、実証実験を
実施している。今後、実
証実験のエリアの拡大
については、今回の実
証実験の成果と課題を
踏まえ、可能性を検討
していきたい。



問 サニタリーボックスの 設置について

答 役場男性トイレに設置を検討

問 デリケートな問
題は声を発しにく
いところでもあります。

答 前立腺がんなど
の病気が高齢によ
って男性でもパッドを日
常的に使用する人が増加
している中で安心して社
会活動をしていただける
ことは、大切なことだと
考えます。そのうえで、町
でもまず役場の男性トイ
レにサニタリーボックス
の設置を検討していき
たい。

前立腺がんなどの病気が
や高齢によってパッドを
日常的に使用する人が安
心して外出できるよう
に、わが町でも男性トイ
レへのサニタリーボック
スの設置を検討すべきだ
と考えます。町の見解を
伺う。



通勤バス実証実験（日野駅前）

問 町道小御門十禅師線 時間がかかりすぎの安全対策ではないか

答 令和3年度提案から早くても10年近くかかる



池元 法子 議員



必佐小学校グラウンド内で工事が進む町道小御門十禅師線

問

町道小御門十禅師線の道路改良工事については、必佐小学校敷地にかかる約200メートルを施工すると予算化されました。

- ①この部分は、いつ着工し、いつ完了予定ですか。また、車道・歩道の幅員を伺います。
- ②この部分に続いて進められる全長800メートルの工事の予定時期・予定個所を伺います。
- ③内池住宅団地の前面道路・調整池の業者施工の進捗状況は。

答

①必佐小学校前約200メートルについては1期工事で、10月頃着工、年度内完了を予定しています。道路幅員は、車道5・5メートル、歩道2・5メートルとなります。

- ②令和5年度に用地買収等を行い、2期工事は国道477号から出雲川御門橋手前約290メートルを令和6年度から7年度に。3期工事は橋梁の架け替え約30メートルを令和7年度から8年度に予定。その後、内池住宅団地前から町道大窪内池線までは順次整備の予定。
- ③内池住宅団地の業者による前面道路・調整池については、すでに確約いただき、設計データ等渡して調整しており、具体的な施工時期は聞き及んでいません。

問

わたむき自動車プロジェクトにおいても公平公正な町の行政運営を望む

答 湖南サンライズの通学バスは、本格運行ではなく、継続運行

問

わたむき自動車プロジェクトの理念、チャレンジの具体的な内容を伺います。

- ①企業の協賛金とはどのような性格で、何を根拠に精算されるのですか。
- ②ダイフクの通勤路線化にあたっての課題、近江鉄道との調整の状況、どのくらい時間がかかるのですか。
- ③6月議会で副町長は「ダイフクの通勤で運賃を確保し、それを財源にして、あるいは昼間空いているバスのリースをうまく組み合わせることで活用すれば、近江鉄道の活性化、ダイフクの交通渋滞解消など地域に貢献できる。まずは、させていただく」

答

と答弁されたが、これは路線化の話か、暫定措置のことか。

- ④9月議会議員全員協議会で、湖南サンライズの通学バスについて「実証実験は9月いっぱい、10月以降は本格運行」する旨の報告があった。これでは初めから本格運行を前提としたやり方。議会審議、予算審議を愚弄する姿勢。理解できる説明を。ダイフクの借り上げバスの昼間流用ならば、運行に伴う事故の責任の所在は。

答

①準備期間に、黒字で運行するか、運行主体はどうかなど協議が必要。許可の準備が整った後、1年半から2年かかる。

- ②準備期間に、黒字で運行するか、運行主体はどうかなど協議が必要。許可の準備が整った後、1年半から2年かかる。
- ③路線化への意気込みを含めて答えた。
- ④(企画課長) 「本格運行」は「継続運行」であり、訂正する。(教育次長) 必佐小学校校長の思いを言われたもの。(副町長) 運行は近江鉄道。事故責任は運行事業者。財源や協賛金、現在は実証実験中。



問 町は農村型地域運営組織(RMO)推進の後押しを

答 県やJAとも連携してRMOづくりを支援していきたい



後藤 勇樹 議員



農村RMOとは小学校区や公民館区程度の範囲における複数集落を対象とし、①農用地の保全、②地域資源を活用した経済活動、③生活支援活動の3つを手がける組織です。

問 6月議会に続き、農村RMOについて質問します。少子高齢化と過疎が進む集落では、複数の集落が互いに機能を補完しあい、農地保全や農業等の経済活動、生活支援等により地域コミュニティの維持を行うことが喫緊の課題となりつつありますが、地域任せにしているのは、進展は難しいと思います。町が地域に対してRMO形成の必要性をしっかりと発信して理解を得、取り組みの後押しをしていく具体

答 (町長・農林課長) RMO設立に要する時間を考えると、早期に取り組むべきと認識しています。公民館単位でのセミナーや出前講座等で必要性を発信していきます。県やJA等、役場内の各課とも連携しながら「農村RMO支援チーム」立ち上げについても研究していきたいと考えます。

問 県が検討中の「交通税」から公共交通を考える

答 交通税が公共交通の活性化に活用できるような要望している

問 県が導入を検討している「交通税」

答 (町長・総務政策主 監・企画振興課長・ 税務課長) 現段階では①資産課税

②個人県民税と法人税 ③車体課税が示されています。制度化された場合は、使途についても町民に情報提供しながら、既存の鉄道・バスの赤字補填のみならず公共交通の活性化・再編の取り組み支援にも活用できるような要望をしているところです。

ですが、諸外国では珍しいもの、実現すれば国内初となり、公共交通のあり方に悩む各自治体も注目しています。どのような課税方式で、使途には町営バス等の公共交通も含まれるのでしょうか。わたむき自動車プロジェクト推進中の日野町にも恩恵があるのでしょうか。

【議員より】

交通税の必要性については、県、町ともしっかりと説明責任を果たされるよう要望します。わたむき自動車プロジェクトについては、運営の損益ばかりに議論が集中しているが、交通弱者にとって公共交通の確保は住民福祉の上で死活問題です。「空気を運んでいる」と揶揄する人もありますが、たった一人のためにも移動を確保する姿勢は、町長公約である「誰一人取り残さない町」のあるべき姿ではないでしょうか。しっかりと町民の理解を得た上で、交通税についても県に対し日野町の要望を発信してもらえるところを期待します。

社会情勢を踏まえた学校給食の取り組みについて

西大路・南比都佐小学校共に改修と合わせて



谷 成隆 議員



問

コロナ感染禍を
迎え三年目となり、
これらに加えロシアのウ
クライナ侵攻が世界中で
実態経済への打撃を与え、
国内においては物価上昇
の局面を迎え、日野町内
の児童生徒の供する学校
給食への影響が危惧され
るところである。

答

① 2校共、30年以
上経過した校舎
は長寿命化計画による
改修と合わせて検討し
ていく必要がある。

- ② 学校給食法に規定され
ており施設整備、修繕
費人件費は設置者、そ
れ以外は保護者負担、
公費負担が増えている
状況。
- ③ 中学校給食提供で9名、
米飯給食開始で7名増
④ 地場産物を活用し地産
地消費率は45・1%。毎月
2・3回程度日野菜を
活用し、献立にバリエ
ーションが少ないため
継続した新しい献立開
発が必要だと考える。
- ⑤ 献立に工夫を凝らし、
食材費を抑えつつ栄養
バランスを考慮した中
で安心・安全で美味し
い給食を提供する。
- ⑥ 従来通りに行っていく。
- ④ 地産地消の取り組みは
地域にとつていい循環。
近況と今後の課題は。
- ⑤ 品質を落とさない学校
給食の対応を。次年度
以降の町の対策は。
- ⑥ 学校給食を義務教育の
範囲内と考えた場合、
全国的に見て給食費無
償化の動向があるが、
町が取り組む考えは。

令和4年度全国町村議会広報研修会に2議員参加



全国町村議会議長会主催による広報研修会が9月21日、東京都千代田区にある砂防会館別館(シェーンバウハ・サボー)にて開催され、西日本エリアから約490名の町村議会議員と議会事務局職員が参加されました。日野町議会からは議会広報常任委員会より委員長と副委員長の2名が参加しましたのでその概要について報告いたします。

この研修会は3つのテーマからなり、3人の講師から議会広報のあり方や目的などについて講演されました。

テーマ1 持続可能な議会広報 議会広報ファシリテーターで熊本大学客員教授の越地真一郎氏より、情報に対する住民の目が肥える中、議会だよりは現状のままで生き残れるのか、ということで大化け、の必要性とその方策について学びました。

テーマ2 住民に`伝わる、情報発信と広報紙作成のポイント 東京都杉並区広報専門監の谷浩明氏より、ポストコロナを見据えた`伝える、情報紙から`伝わる、情報紙への考えのもと、広報紙作成のポイントについて参加者とともに考えました。

テーマ3 優秀議会広報クリニック~3つの議会広報が教えてくれること~ エディターの吉村潔氏より、広報広聴は地道な蓄積で、容易に「解」や「成果」は得にくいもの。令和3年度広報コンクール受賞のトップ3(岩手県岩泉町議会、埼玉県寄居町議会、福岡県大刀洗町議会)を取り上げ、その実践的・持続的な「改革」と「次」への挑戦にフォーカスしたお話を聞きました。

これら3つの講演を聞く中で日野町議会だよりを振り返りながら、至らない紙面や重要なポイントの見落としなどに気づき、これからの広報紙面作りに大変参考となりました。

日野町議会議員公務一覧

(令和4年6月1日～9月30日)

公務名		場所	期間	出席議員
第57回滋賀県消防操法訓練大会 練習開始式	来賓	日野消防署	6月4日	総務常任委員長
西大路小学校6年議場見学	その他	日野町役場	6月7日	副議長・総務常任委員長 野矢・山本
Freedom is contagious ～隣国ポーランドから見た ウクライナ情勢～	構成員	日野町立図書館	6月11日	総務常任委員長
日野町文化懇談会令和4年度総会	来賓	日野公民館	6月12日	総務常任委員長
令和4年度 進取のまちづくりフォーラム	その他	わたむきホール虹	6月25日	議員全員
桜谷小学校議場見学	その他	日野町役場	7月8日	副議長・総務常任委員長 高橋・加藤
市町村議会議員研修 「社会保障・社会福祉」	研修	全国市町村 国際文化研修所	7月11日 ～13日	山本
第1回民生委員推せん会	構成員	日野町防災センター	7月12日	厚生常任委員長・厚生常 任副委員長
外国人交流事業	構成員	観光交流施設みかく	7月23日	総務常任委員長
滋賀県立大学学生による 政策提案・発表、意見交換会	その他	わたむきホール虹	7月24日	議員全員
地方創生特別委員会視察	視察	豊通ペトリサイクル システムズ株式会社	7月27日	地方創生特別委員会
蒲生郡町村議会議長会議員研修会	研修	わたむきホール虹	7月27日	議員全員
第57回滋賀県消防操法訓練大会 出場壮行会	来賓	日野消防署	7月31日	副議長・総務常任委員長 高橋・加藤
第2回市町村議会議員特別セミナー	研修	全国市町村 国際文化研修所	8月1日 ～2日	齋藤
議会運営・事務基礎研修会	研修	ホテルサンルート彦根	8月4日	山本・高橋・加藤
氏郷まつり「夏の陣」2022	その他	日野町役場	8月6日	議員全員
市町村議会議員研修 「自治体予算を考える」	研修	全国市町村 国際文化研修所	8月18日 ～19日	山本
町内立地主要企業・事業所代表者と 日野町長との懇談会	来賓	林業センター	8月26日	産業建設常任委員長
令和4年度 消防協会日野支部夏季総合訓練	来賓	八千鎰神社	8月28日	副議長・池元
第3回日野町国際親善協会理事会	構成員	林業センター	9月26日	総務常任委員長
秋の全国交通安全運動街頭啓発	地域交流	町内各所	9月21日 ～30日	議員全員

その他

通常公務として日野町議会定例会

一部事務組合 東近江行政組合議会／八日市布引ライフ組合議会／中部清掃組合議会

議長公務 約30件 などがあります。

請願・陳情等の手引き

誰でも、町政などについて意見や要望などを請願・陳情として町議会へ提出することができます。

詳しい手引きについては、日野町ホームページまたはQRコードからご覧ください。

請願・陳情

サイト内検索



議会だよりアンケートのお願い

議会だよりへのご意見をQRコードから入力いただけるようになりました。皆様から頂いたご意見を反映し、わかりやすく・読まれる議会だよりにしていきますので、ご協力をお願いいたします。

※従来通り電話やメールでもご意見を受け付けています。



議長コラム



議長 杉浦和人
国葬儀に参列し
献花をさせていただきます
いただきました

手に花を持って悼む人、手にプラカードやマイクを持って怒る人、賛否の分かれた日本武道館周辺。

私の父は生前『結婚式には招待状が来るが、葬儀には招待状はない、ご縁をいただいた人への野辺送りは欠かさず』と常に申していました。人生で初めて安倍晋三国葬儀の案内状を岸田内閣総理大臣からいただきました。幸い公務もなく自費で参列させていただきました。厳粛な儀式の中で献花をさせていただきました。

平成30年総理大臣官邸で行われた「国と地方の協議の場」に全国町村議会議長会の代表として、ゴルフ場利用税を国に統括せず、厳しい財政の町村への現行制度の堅持をお願いいたしました。安倍総理（当時）は大きく頷かれ、今なお日野町にはこの税が継続されています。こうしたご縁をいただいた人を静かにお見送りしたかったのが私の素直な気持ちです。

議会 広報常任委員会

委員長	高橋源三郎
副委員長	山本 秀喜
委員	野矢 貴之
委員	加藤 和幸
委員	後藤 勇樹
委員	谷 成隆
委員	齋藤 光弘

編集後記

今号が皆様に届くころは立冬も過ぎ、朝晩の寒さも深まっている頃でしょうか。今回は議員公務などをより知っていただくため、紙面構成を工夫してみました。また去る9月議会では町に対し、議会より2件の決議を提出いたしました（本文中に詳細記載）。2件とも住民からの請願や意見書を受けて決議したものです。日野町議会ではより良い町を目指し、皆様からの請願や陳情を随時受け付けております。書式はこのページ上部のQRコードからご参照いただくか日野町役場議会事務局までお問い合わせください。

（後藤 勇樹）

12月定例会（本会議）のお知らせ【予定】

- 12月1日（開会・提案説明）
- 13日（質疑・一般質問）・14日（一般質問）
- 23日（採決・閉会）



町長提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	*杉浦	
決算の認定（9議案）															
令和3年度日野町一般会計歳入歳出決算	<p>*決算特別委員会で閉会中に継続審査</p> <p>令和3年度一般会計他8会計の決算審査を行うため、11名の委員で構成する決算特別委員会が設置され、閉会中の継続審査となりました。</p> <p>▽委員長…加藤和幸 ▽副委員長…高橋源三郎 ▽委員…野矢、山本、後藤、奥平、山田、谷、中西、齋藤、池元</p>														
令和3年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算															
令和3年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算															
令和3年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算															
令和3年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算															
令和3年度日野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算															
令和3年度日野町西山財産区会計歳入歳出決算															
令和3年度日野町水道事業会計決算															
令和3年度日野町下水道事業会計決算															

議員提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	*杉浦
特別委員会の設置（1議案）・選挙（1件）														
決算特別委員会の設置	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
決算特別委員会の委員の選任	選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
請願の審査（1件）														
火災建物の撤去に伴う適切な対応を求める請願書 ▽請願団体：石原区自治会長 丹羽茂嗣氏 ▽紹介議員：谷成隆議員、西澤正治議員、奥平英雄議員	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
意見書の決議（2件）														
火災、急傾斜地土砂崩れ、森林の倒木等、あらゆる災害による家屋の倒壊に対し完全復旧に関する条例制定を求める決議 ◎提出者…後藤勇樹総務常任委員長	決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
奥師地先宮川林道橋梁復旧を求める決議 ◎提出者…中西佳子産業建設常任委員長	決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

意見書決議の内容は、日野町ホームページ（議会）をご覧ください。ご質問は、議会事務局までお問合せ下さい。

提出された議案と結果

○賛成 ×反対

第5回臨時会（8月9日開催）

町長提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	*杉浦
条例の一部改正（1議案）														
特別職の職員の給与等に関する条例 町長および副町長の給料について、令和4年9月1日から1ヶ月間減額するもの	原案可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

第6回定例会（9月1日～29日）

町長提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	*杉浦
人事（3議案）														
人権擁護委員の候補者の推薦 川原慎一氏（安部居）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町公平委員会委員の選任 福永典子氏（内池）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町教育委員会委員の任命 吉澤松美氏（村井）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
条例の一部改正（4議案）														
日野町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 日野町職員の妊娠、出産、育児等と仕事の両立支援を図るための条例改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町税条例および日野町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例 地方税法等の一部を改正する法律の制定公布等に伴う条例改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例 助成の範囲および転入者の助成の期間を定めるための条例改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町老人福祉医療費助成条例の一部を改正する条例 助成の範囲および転入者の助成の期間を定めるための条例改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
補正予算（4議案）														
一般会計（第5号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
国民健康保険特別会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
介護保険特別会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
水道事業会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

*議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数のみ「議長採決」として表明します。

議員公務の一部を 紹介するにゃん



蒲生氏郷公顕彰会公認キャラクター
がもにゃん



必佐小学校6年生



町内の小学校6年生を 案内したにゃん

案内

目的：小学校の地域社会教育の一環
対象議員：総務常任委員長、他数名
案内内容：議場、議会・議員の役割、
役場のお仕事探検など

研修

全国の市町村長、議員、職員等に高度で専門的な知識やスキルを提供する、全国市町村国際文化研修所(通称JIAM)が天津にあるにゃん。恵まれた立地なので、積極的に利用するにゃん。

目的：自己研鑽、調査研究、事例収集、交流
対象議員：希望者のみ抽選

研修内容

- ・市町村議会議員研修「社会保障・社会福祉」
- ・第2回市町村議会議員特別セミナー
- ・市町村議会議員研修「自治体予算を考える」



JIAMの全景（天津市唐崎）



豊通ペトリサイクルシステムズ
株式会社の新規施設（鳥居平）



町内企業を視察させて いただいたにゃん

視察

目的：企業の取り組みから学ぶ
対象議員：地方創生特別委員会
視察内容：工場見学、社会課題解決への
取り組み紹介など

〔訂正〕前号(第19号)24ページの「近江中山の芋競べ祭り」は9月1日とありますが、近年は9月の第1日曜日に行われています。

日野町議会広報

日野町議会 議会だより

◆発行/日野町議会 ◆編集/議会広報常任委員会

〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地

☎0748-52-6551 Fax0748-52-2044

ホームページ<http://www.town.shiga-hino.lg.jp> メールgikai@town.shiga-hino.lg.jp

「議会だより」に関するご意見募集中！書式は問いません。郵送・e-mailまたは議会事務局までご持参願います。